

発行年月日 2022年12月

下野毛工業協同組合

第3回 匠 WEB版

1. 我が社の若手紹介

協親自動車(株)

2. 社長紹介

株式会社三珠

3. YOUは何しにSHIMONOGEへ？

株式会社青山プラスチック塗装

4. お気に入りのお店紹介

株式会社三珠

5. 下野毛 Style 地域連携 BCP(防災)

活動報告書

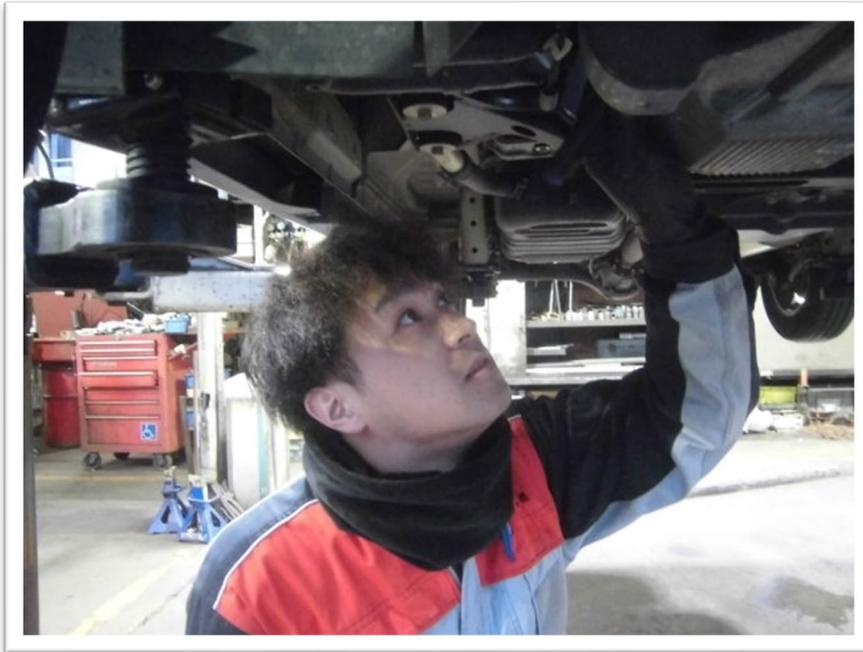
6. 川崎ものづくりフェア

活動報告書

7. ものづくり体験教室

活動報告書

我が社の若手紹介



記者 本日はよろしくお願いします。

松谷 協親自動車株式会社 松谷と申します。よろしくお願いします。

記者 協親自動車株式会社への入社経緯を教えてください。

松谷 以前ガソリンスタンドでアルバイトの経験があり車関係に興味を持ち、知人の紹介で入社しました。

記者 入社して何年目ですか？

松谷 5年目になります。

記者 お仕事の内容はどのようなものですか？

松谷 乗用車、トラックなどの修理、整備、点検(車検)です。

記者 このお仕事で大変なことはなんですか？

松谷 最近の車種はハイブリット車やEV車が多く新技術が増えている為、今までの技術プラス新しいことを勉強しながらになる整備です。

記者 このお仕事で楽しい事はなんですか？

松谷 最新の車を整備できる事が知識になり楽しいです。

記者 プライベートの事ですが休日は何をして過ごしていますか？

松谷 小、中、高、大学と野球をしていたので仲間と作った草野球チームで楽しんでいます。
(埼玉県の大宮ケンポグラウンドがメインです)

我が社の若手紹介

記者 チームは強そうですがポジションはどこですか？

松谷 ピッチャー以外はどこでもやりますけど、特にキャッチャーが多いです。試合はレベルに合わせてですが、2部～3部のリーグ、トーナメント戦に出ています。

記者 普段はどこで遊んだり飲みに行ったりしますか？

松谷 最近はあまり行ってないけど、地元が大田区蒲田なのでその辺りですね。

記者 今後の目標は？

松谷 現在持っている資格よりも上にあたる自動車検査員という資格を目指しています。会社の先輩整備士はみんな持っていますので。

記者 棚部社長へ一言

松谷 頑張ります！！

記者 棚部社長から一言

棚部 私から…精一杯育てさせていただきます。輝いてください。

今回ご協力頂いた会員は協親自動車(株)様でした。

松谷さんは爽やかで筆者も野球が好きなので取材していてとても楽しかったです。

ご協力ありがとうございました。



PROFILE

協親自動車(株)

松谷克馬 -まつや かつま-

東京都大田区生まれ。

現在、25歳。

資格 自動車整備士3級ガソリン。

趣味 野球

記者：(有)シブヤ 渋谷 薫

社長紹介

株式会社 三珠

代表取締役: 田口 敏雄 (たくち としお)

年 齢: 53 歳

出 身 地: 宮前区

趣 味: ゴルフ(ほぼ毎週)

お酒(一日角瓶半分がノルマ)

経 歴: 新卒で札幌の証券会社に就職し
3 年程勤めた後、株式会社三珠に就職し、
35 歳の頃に社長に就任しました。



Q1 会社の沿革・設立について

私の父が昭和 55 年に宮前区で創業。その後昭和 60 年に梶ヶ谷に移転し、平成 15 年に現在の下野毛に移転しました。

社名の由来は孟子の天地人を語源としていて、三珠と名付けられました。

Q2 従業員数と事業内容について

従業員数は 20 名

事業内容は、各種装置設計製造・機械加工・熱処理・表面処理です。

Q3 主な製品について

自動車の研究開発に使用する燃料電池・個体電池・バッテリー関係の試作がウエート
を占めている。自動車関連の仕事が全体の 7 割程度です。

日産自動車からは無検査指定納入先の認定を受けています。

Q4 組合への期待・要望について

テクニカルショウヨコハマ等の展示会出展できるのがありがたいです。年間で複数回実施して頂けると助かります。

海外展開を検討していて、川崎市や組合主導で海外企業とのマッチングや橋渡しをして頂きたいです。

来年度の新卒採用に苦慮していて、採用関係の情報発信もして頂きたいです。

Q5 今後の目標・展望について

加工の領域を広げる（微細加工への）取り組みをしている。

微細加工に対応できる加工や検査設備体制を構築するため、事業再構築補助金を利用し（6000万円申請し、満額の4000万円受理されました）、マシニング、3次元測定器、電子顕微鏡を導入しました。

記者：この度はお忙しいところインタビューにお答え頂きありがとうございました。インタビュー後に工場見学もさせていただき、3Dで物の凹凸を測れる電子顕微鏡等を拝見させていただきました。

記者 有限会社山口精機 山口 晃幸
今野工業株式会社 今野 裕夢



YOUは何しにSHIMONOGEへ? 日本で活躍する外国人材

株式会社青山プラスチック塗装

名前：ロレタさん

出身国：フィリピン（バギオ）

今回、取材を受けてくださったのはフィリピンから来日した、ロレタさん。「なぜ、日本に来たの?」「彼女は日本のどんなところが好きなの??」お聞きしたいことは沢山! それでは早速、青山プラスチック塗装さんへお邪魔しま〜す♪

記者 ロレタさん、今日はよろしくお願いします!

ロレタ はい、よろしくお願いします!

記者 どちらのご出身ですか?

ロレタ フィリピンのバギオです。

記者 どのあたりに位置しますか?

ロレタ フィリピン北部ルソン島、マニラの北にあります。バギオは、日本の秋田みたいなおところなんですよ。

記者 ロレタさんが、日本に来たのはいつか?

ロレタ ずっと前。ん・・・2002年、ちょうど20年前です。

記者 日本は、もう長いんですね〜。ご家族は?

ロレタ 旦那さんと女の子が一人。

記者 ご主人はフィリピンの方ですか?

ロレタ はい。フィリピンで大学を卒業、結婚してから日本にきました。

記者 なぜ、日本にきたのですか?

ロレタ おじいさんが山口県にいたからです。おじいさんは日系人なんです。

記者 他のご家族は?

ロレタ 私の姉と弟が、群馬県にいます。母は、フィリピンです。

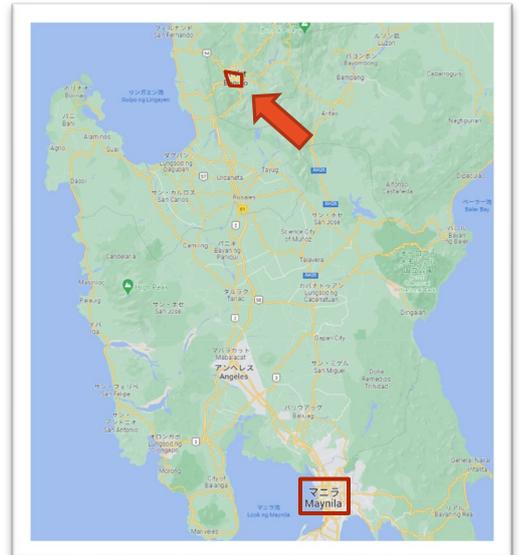
記者 ご姉弟もお近くにいらして、いいですね。

記者 お休みは、なにをして過ごしてますか?

ロレタ あまり出かけませんが、たまに映画を観に行きます。

記者 日本の好きなおところは、どんなところですか?

ロレタ 春が好きです。桜がとても綺麗ですね。あと暑いのが、苦手で・・・出身が、日本の秋田みたいなおところ(バギオ)なので。日本の夏は暑すぎて、ばててしまいます(汗)



YOUは何しにSHIMONOGEへ? 日本で活躍する外国人材

記者 青山プラスチック塗装さんに入社したのは、いつですか？

ロレタ 2005年です。途中2011年に産休・育休で1年半、一時帰国しました。

記者 そんなに長くいらっしゃるんですね。大ベテランですね！お仕事は、楽しいですか？

ロレタ はい。最初は、検査をしていました。今は、検査とオペレーターをしています。

ロボットの色出しのティーチングをしているんです。

記者 後で、その様子を見せて頂けますか？

ロレタ はい。

記者 ありがとうございます。後ほど、楽しみにしていますね！

記者 フィリピンへは、最近かえってますか？

ロレタ いいえ。コロナで4年間、帰っていません。ほかの方も国に帰りたいので、みんなで代わりばんこで帰っています。(青山プラスチック塗装さんでは、ロレタさんの他、インド人・ベトナム人が活躍しています)

記者 久しぶりにお母さんに会えるの、楽しみですね。

ロレタ はい♪



笑顔がとてもチャーミングなロレタさん。お聞きしたところによると、彼女がいないと現場が回らないほどの腕前だとか。素晴らしい！

これからも、青山プラスチック塗装さんで大いにご活躍ください！！

本日は、どうもありがとうございました！

記者：有限会社トワダ 阿部早苗



お気に入りのお店紹介

～第3回～

酒家鶏処 『炭寅』

- 【住所】 東京都世田谷区玉川3-11-1 柳小路東角1F
- 【アクセス】 東急田園都市線 二子玉川駅 西口 徒歩3分
- 【電話】 03-5491-5131
- 【営業時間】 17:00～23:00 (L.O.22:00)
- 【定休日】 火曜日、年末年始 (2022年12月31日～2023年1月2日)
- 【ホームページ】 <https://sumitora.jp>
- 【紹介者】 株式会社三珠 代表取締役 田口敏雄社長

地元の美味しいお店を紹介して頂くこのコーナー。

今回は株式会社三珠の田口社長お気に入りのお店『炭寅』に行ってきました。

二子玉川駅から歩いて3分、柳小路にある備長炭焼き鳥&水炊きのお店です。

佐賀県のブランド鶏『みつせ鶏』を備長炭で丁寧に焼き上げこだわりの塩で提供するのがウリのようです。店内はとてもお洒落で、カウンター席やテーブル席、個室もあったりでデートや会食など色々なシーンで利用できそうな雰囲気でした。



お店の外観



店内の様子

Bar 『柳小路まるうめ』



- 【住所】 東京都世田谷区玉川3-11-4 柳小路
- 【アクセス】 東急田園都市線 二子玉川駅 西口 徒歩3分
- 【電話】 03-5716-9981
- 【営業時間】 19:00～3:00
- 【定休日】 日曜日（月曜日が祝日の場合営業）
- 【ホームページ】 <https://www.maruume.jp>
- 【紹介者】 株式会社三珠 代表取締役 田口敏雄社長

そしてもう一軒ということになり大人のムード漂う田口社長お気に入りのBar『柳小路まるうめ』に。

店内は古民家風になっており1階はカウンター席、2階はソファがある隠れ家的な空間です。

スタッフの対応も柔らかく、居心地の良い非日常的な空間を提供してくれます。

とてもお洒落なBarを教えてくださいました。



本日2回目のかんぱ〜い！



オシャレな大人の空間と美味しいカクテルに感動！ 店内は暗めなので他のお客さんを気にすることなく、ゆっくり大人の時間を過ごせます。



田口社長、終電ギリギリまでお付き合い下さり有難うございました。
ブランド鶏の美味しい焼き鳥に水炊き、二軒目のお洒落なBar、最高の時間を楽しむことができました。
二子玉川でのデートコースはこれで決まりって感じです。
また美味しいお店を紹介して下さい。宜しくお願いします。

下野毛 style—地域連携 BCP（防災）

活動報告

川崎市と連携の上、防災のための『地域連携 BCP』に取り組んでいます。

今年が最終年度の3年目で、2023年3月までに基本的な事業の枠組みを完成する予定です。現在までの取り組み状況と途中経過をご紹介します。

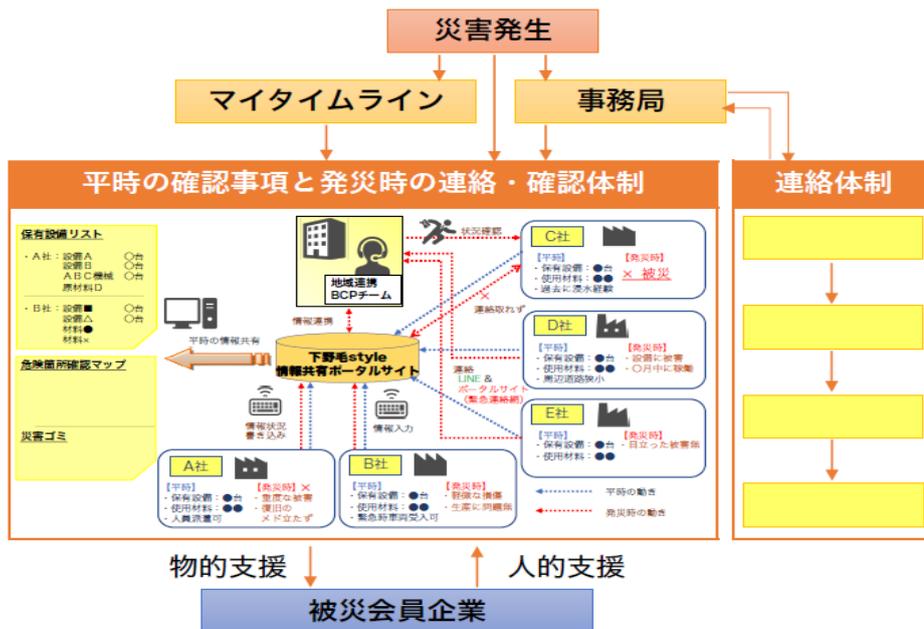
まずこの事業の目的は、激甚化する自然災害への備えとして組合企業間・地域での防災力や事業継続力の強化に向けた『地域連携 BCP』の体制づくりです。これは令和元年の台風19号罹災では企業単位での対応に加えて、組合会員同士や地域で連携した対応が災害後の復旧に寄与したことが教訓となっています。

具体的な活動は、「情報チーム」「救援支援チーム」「安全点検チーム」「清掃チーム」の4チーム編成で、平時→災害発生時→災害後に何を準備し何ができるかをとり纏めています。(下図参考)

段階	情報内容	インプット		アウトプット		補則事項						
		担当(誰が)	どこから	担当(誰が)	共有場所&共有手段							
平時	川崎市: 防災情報(避難指示等発令、避難情報、防災マップ)	情報チーム	かわさき防災アプリ	情報チーム	ポータルサイト、チラシ配布 活用案内	・下水道局との定期交流により、最新情報を説明会等で案内						
	川崎市: 排水機関情報		下水道局排水機関情報									
	川崎市: 最新浸水対策		川崎市下水道局									
	高津区: 総合防災訓練(2か所開催)	救援・支援チーム	高津区危機管理担当	ポータルサイトほか	・災害用機材の保有数・貸出可能数アンケート実施(初回2022年8月)							
	下野毛: 災害用機材のシェアリング		会員企業アンケート									
	下野毛: 防災MAP、避難ルート、車の避難先候補	安全・点検チーム	地域調査	安全・点検チーム	MAP等に整理⇒ポータルサイト他	・具体例: 防水壁、土嚢などの情報or説明会						
	下野毛: 水害・地震対策にかかわる必要情報の提供	安全・点検チーム	行政、専門家、供給メーカー	安全・点検チーム	説明会、ポータルサイト、チラシ配布							
	下野毛: 災害ごみ(片づけごみ)の仮保管場所の確保	清掃チーム	川崎市園遊部局(環境局など)	清掃チーム	ポータルサイトほか	・川崎市との交渉経緯の中で段階を追ってインフラ改善 ⇒ごみ保管場所、収集方法、側溝・マンホール等の清掃手順						
	下野毛: 災害ごみ収集方法の改善	清掃チーム		清掃チーム	ポータルサイトほか	・川崎市発行『災害が起きた時の“ごみ”のこと』						
	下野毛: 災害ごみ回収に関し民間業者との体系構築	清掃チーム	環境局、(株)カワセイ	清掃チーム	ポータルサイトほか	・(株)カワセイ 森川社長等との重談結果						
サブライチェーン維持(代替生産、代替調達)のための 支援情報	全チーム	各団体との連携整備	全チーム	ポータルサイト、他団体HP	・各社独自の代替生産事前確保が優先されるが、同等の要素技術や設備を 保有している会員企業、他団体企業、市内企業との確立体制を準備							
災害前	川崎市: 防災情報、排水機関情報	情報チーム	かわさき防災アプリ	情報チーム	ポータルサイト							
	下野毛: 地域災害状況の写真・動画UP	全チーム (安全・点検チーム中心)	地域巡回(可能な限り)	全チーム(随時)	ポータルサイト掲示板、LINE	・災害の時間帯により、地区在住メンバーの協力も仰ぐ						
	下野毛: 組合会館の避難場所としての開放状況	安全・点検チーム	事務局と連携	事務局	ポータルサイト・ホワイトボード	・会館の鍵の開閉管理は安全・点検チーム						
	下野毛: 車の避難移動場所情報	安全・点検チーム	事前地域調査	安全・点検チーム								
災害後	下野毛: 町会との情報連携	安全・点検チーム	町会折衝		ポータルサイト、他団体HP							
	安否情報&被害状況&生産復旧の確認	全チーム	ポータルサイトへの会員より報告 電話連絡によるセキヤリング 会員企業アイトバック& ヒヤリング情報より	全チーム	ポータルサイトへ状況周知	・ポータルサイトに災害時被害状況のアンケートフォームを 作成しそこに報告してもらおう準備						
	復旧への協力・支援指示	救援支援チーム+ 北被災メンバー		非被災全メンバー	被災会員企業へ直接的な人的 物的支援							
被災届、補助金、助成金情報	事務局	川崎市等公式HPほか	事務局	ポータルサイト、チラシ配布								
サブライチェーン維持(代替生産、代替調達)のための 支援連携	全チーム	サブライチェーン体制リストより ・機械メーカー情報 ・生産受託可能情報	全チーム	ポータルサイトへリストの掲載 他団体のHPリンク	・この情報をもとに、どうしても盤対策では不十分な場合、 代替&復旧生産に活用してもらおう。							
チーム編成	情報	BCPに関わる最新情報の収集・共有と体系化 情報連絡の整備(ポータルサイト、LINE、電話等) 災害情報の収集・伝達共有、行政との連携 会員の被害情報の把握し、救援・支援方法の決定等		救援 支援	救援・支援資材の調達と整備 防災勉強会・防災訓練の開催 参加企業間で資器材の貸出の仕組み作り 救援・支援活動(排水・掃除等)		安全 点検	地域内危険箇所、避難ルート情報の共有 巡回点検による地域特性の把握 組合会館の活用(一次避難場所) 地元町会等地域との連携		清掃	行政および民間業者との調整・連携 廃棄物関連業界団体等との事前協定等	

この取り組みの特徴は、川崎市の補助金を活用し災害時や平時の際の情報伝達手段として、マイクロソフト社の Teams を活用し、会員向け情報共有サイトをインターネット上に構築しているところです。スマホやパソコン環境があればどこからでもアクセスでき、平時・発災時・発災後に必要な防災情報やお役に立つ各種情報を掲載していく準備をしています。また、発災時にはサイト上の緊急アンケートにて会員の皆様の罹災状況や支援要請の把握に役立てたいと考えています。下記概略図にもありますが、インターネット環境が使いにくい場合は従来の電話・FAX も活用していきます。

災害発生時の対処フロー



この下野毛工業協同組合の地域連携 BCP 事業の取組は、川崎市はじめ国からも関心と評価を頂いており、川崎の他の工業団体などとも地域連携していければと思います。

今後は会員の皆様はこの体系をご説明しご意見を反映させていく中で、より実用的・効果的な体系に改善・改良して行きたいと考えています。

引き続きよろしくお願い致します。

川崎モノづくりフェア 活動報告

川崎市の「ものづくり」の魅力を発信するイベント「川崎ものづくりフェア」が、今年も7月9日（土）に川崎フロンターレ対ガンバ大阪戦の試合前イベントとして開催されました。ものづくりフェアは今年で10周年を迎え、下野毛工業協同組合としても、10回すべてに参加しており、節目の年となりました。



開催内容としては、川崎フロンターレの26周年を一緒に盛り上げる026（お風呂）にちなんだオリジナルデザインのワークショップや、今までの歴史を振り返る展示ブースなどが設けられました。

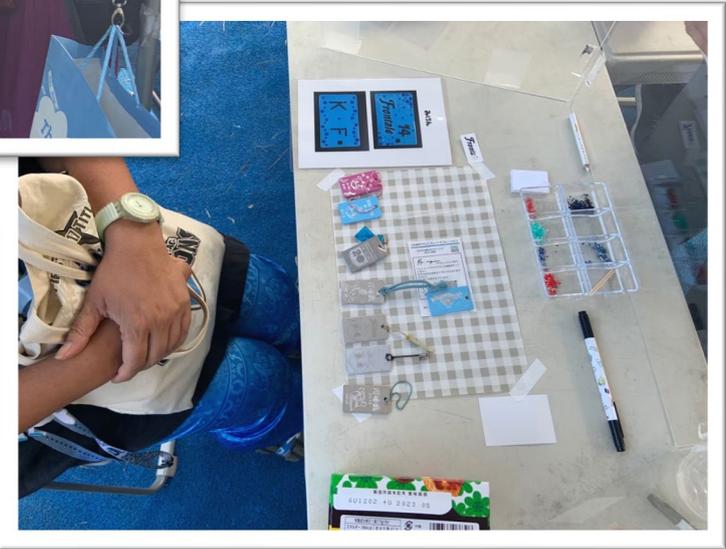
下野毛工業協同組合は、10年間続けてきたキーホルダー等に使用できるアルミプレートを今年もデコレーション体験という形式で提供しました。また「ふろんて」と題し、風呂敷をバックや袋にできる持ち手（ハンドル）の部分を製作し、こちらもデコレーション体験として提供しました。デコレーションはラインストーンを接着する仕様で子どもでも簡単にできましたが、文字や好きなデザインをデコレーションでき自由度が高く、大人の方にも好評で、たくさんの方にご参加いただきました。

また、今年は当日のスタッフとして組合各社の従業員の方も多く参加していただき、「地域のイベントに携われてよかった」「自分の会社以外の方と交流ができてよかった」などの感想をいただきました。住民の方と工場が共に生きていくために始めたイベント。主催者側でも成果となって表れました。

下野毛地区は一般住宅の建築も可能な準工業地域であり、特に昨今は工場撤退後に戸建て住宅が増え、住宅と工場が複雑に入り組む地域となっています。こうした「住工混在」の状況のもと、住民との相互理解を深め、ものづくりの魅力を発信するために開催している同イベントに、今後も組合として参加する意味は大きいと感じます。

記事 有限会社シブヤ 渋谷 薫







体験教室事業報告

活動報告

川崎市や高津区と協力して「住工の混在」について住民と工業が共存して行くために何かやれることは無いか。「まずは工場やものづくりを知ってもらう事から始めよう」との思いから始めたオープンファクトリー。そこから派生して出来たイベントで、



オープンファクトリーは見学色が強いものですが、実際に部材や工具を使い組み立てやタップ切り等ものづくりに触れてもらいたいとの思いからこの『ものづくり体験教室』が生まれました。

今年で三回目となりますが、毎回好評を頂き即日定員いっぱいとなっています。今回はエントリー開始から1時間で定員に達するほどでした。

今回の体験内容はアクリル板を組み立て作る小物入れ。アクリルの板と板の間に溶剤を流し込み素材同士を溶かして接着する『溶着』という技術を体験してもらいました。

実際に体験した子どもたちは「くっついた、すっごーい」「難しかったけど、楽しかった」と様々でしたが、素材同士くっつくという不思議な体験に驚き、楽しんで貰えた様でした。



終了後のアンケートでは

「知らない工場で何が行われているか知ることができて、街に住む人たちの顔を知ることができました」

「大人も子どもも楽しめました。子どもの体験はものづくりへの第一歩となるでしょう」

「近所でも知らなかったことが学べて親も楽しい時間を過ごせました。もっと街のことが知りたくなりました。」

様々な感想を頂き、住民の方々とのコミュニケーションの場としての効果も感じることができました。

この様なふれあいを通して、地元に貢献したり、工場やものづくりへの理解に繋がるような働きかけを継続していくことは大切だと感じました。

最近では多くの会員企業様がイベントに理解を示し協力していただけるようになり、今まで出来なかったことや思いもよらなかったような新しいことが生まれるようになりました。多くの仲間たちと一つの物を作り上げていくのは、とても楽しいですね。これからも、より多くの組合員の皆様の参加をお待ちしております。

PS 今回は企業の紹介、展示ブースを作ってみました。

